

平成27年度 事業報告

社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会

I 岡谷市社会福祉協議会事業推進組織・役職員体制

(1) 役員

理事会	事業推進執行機関	会長1名・副会長3名・常務理事1名・理事11名
監事	事業・会計監査	学識経験者1名・税理士1名
評議員会	議決機関	地域・各種団体代表等34名

(2) 職員

事務局長兼常務理事	1名	まゆみ園園長・居宅介護支援事業所長・訪問介護事業所長
事務局	10名	正規4名・嘱託5名・臨時1名
居宅介護支援事業所	7名	ケアマネージャー(正規3名・嘱託4名)
訪問介護事業所	24名	ホームヘルパー(正規5名・パート19名)
まゆみ園	2名	保育士(正規1名・臨時1名)
おかや総合福祉センター	8名	館長(嘱託1名)・事務員兼業務員(嘱託3名・臨時4名)
ひだまりの家	5名	所長(嘱託1名)・指導員(嘱託1名・臨時3名)
生きがいづくりデイサービス	4名	援助員(臨時4名)
結婚相談所	2名	結婚相談員(臨時2名)
日常生活自立支援事業	10名	生活支援員(臨時10名)
合計	73名	

II 主たる事業・会議等の開催

月	日	説明	月	日	説明
4月	1日	まゆみ園始業	7月	8日	社協会費収納開始(7/1~8/30)
	15日	定例正副会長会(月1回)		11日	サマーチャレんじ2015(~8/31)
	24日	ブロック社協局長・次長会議		14日	ハートリーフ
	27日	地区社協役員研修会		18日	地域活動計画策定委員会
5月	9日	こども福祉教室開講式(全9回)		21日	手話通訳者フォローアップ講座(全5回)
	12日	監査会		24日	正副会長会
		手話奉仕員養成講座(全41回)			ブロック社協局長・次長会議
	13日	正副会長会	8月	1日	岡谷市社会福祉大会(カノラホール)
	19日	理事会・評議員会		3日	被災地社協職員派遣(山田町)~7日
	26日	理事会		5日	生きがいデイサービス
27日	声の広報デージー化基礎講座(全3回)			ボランティアリーダー養成研修(全6回)	
29日	社会福祉推進校連絡会議	14日		ふれあいおどり連	
6月	13日	手話奉仕員フォローアップ講座(全10回)	20日	正副会長会	
	16日	正副会長会	9月	3日	育児ファミリーサポートセンター研修会(全6回)
	17日	おかや総合福祉センター防災訓練		9日	長野県社会福祉大会(須坂市)
	18日	会費収納説明会		14日	共同募金説明会
	23日	理事会			正副会長会
	26日	ブロック社協総会		26日	ふれあいの集い(ぶどう狩り)
	29日	岡谷市障害者福祉推進実行委員会総会 共同募金運営委員会			

10月	10日	共同募金運動開始(10/1~12/31)	1月	16日	防災とボランティアパーク(炊出し)
	16日	ふれあい祭り&ボランティア祭り		19日	正副会長会
11月	19日	家庭介護者の集い	2月	4日	地域福祉活動計画策定委員会
	23日	正副会長会		17日	正副会長会
12月	24日	ブロック社協役員研修会	3月	25日	家庭介護者の集い
	24日	福祉バザー		26日	ブロック社協局長・次長会議
11月	1日	ブロックボランティア交流研究集会	3月	4日	地域福祉活動計画策定委員会
	18日	おやか総合福祉センター防災訓練		15日	まゆみ園卒園式・修了式
12月	19日	正副会長会	3月	24日	正副会長会
	26日	障がいを理解するための学習会		24日	共同募金配分審査会
12月	28日	ハートリーフ	3月	25日	地域福祉活動計画策定委員会
	8・9日	愛知県清須市社協視察研修		25日	法律相談
12月	22日	正副会長会	3月	28日	理事会・評議員会
	22日	まゆみ園クリスマス会			
12月	22日	地域福祉活動計画策定委員会			

III 事業の実施報告

第2次地域福祉活動計画に基づき事業を推進してまいりました。計画に掲げた4つの基本目標に沿って事業実施の報告をいたします。

基本目標1 地域福祉活動の輪を広げる

(1) 福祉意識の普及

様々な事業を通じ、また各種媒体を活用し、市内全体に福祉意識を広げた。

①岡谷市社会福祉大会の開催 8月1日(土) カノラホール大ホール

総合テーマ	みんなで築く、みんなの福祉、みんなの未来(あした)		
内容	講演	「～がんばっぺ！オラの大好きな日本～ 今、できること」	
	講師	ダニエル・カール氏	タレント
表彰	市社協会長表彰	社会福祉事業特別功労者	2個人
		褒賞	15個人
		感謝状	4個人・4団体
	共同募金会岡谷市支会会長表彰		
		感謝状	9団体
		東日本大震災義援金感謝状	2団体・1法人

地域福祉の担い手であり、主役である住民の皆さんが、地域でいきいきと暮らし、活躍されることを願うとともに、福祉に対する意識の高揚を図り、約600名の参加をいただき開催した。

②長野県社会福祉大会への参加 9月9日(水) 須坂市文化会館

内容	住民支え合い活動実践報告
	寺坂 美代子氏 朗読ボランティアグループ「須坂あかりの会」
講演	「生きる勇気をありがとう！」
	講師 清水 哲氏

③ 社協だより「ゆめ」の発行 年12回・全戸配布 事業、活動、福祉情報、ボランティア情報等掲載

④ 地区社協だよりの発行 17地区 地域住民に地区社協活動を周知、理解協力及び福祉活動への参加促進を図った。

⑤ 新聞等報道機関の協力

⑥ 福祉教材の貸出 学校に福祉体験用として、各教材の貸出しを行った。

高齢者疑似体験セット	川岸小学校
車いす	小井川小学校・岡谷東高校

- ⑦ 各種体験学習会、福祉学習会の開催
 学校、幼稚園等に講師として出向き、車いす・アイマスク・手話・点字・高齢者疑似体験学習会を行った。
 また地域のゲストティーチャーとして、視覚・聴覚障がい者や点字・手話サークルの皆さんに協力をお願いし、指導していただいた。
 湊小学校、長地小学校、田中小学校、川岸小学校、岡谷東高校、たちばな幼稚園、ともそだちプラネット、茅野市泉野小学校
- ⑧ こども福祉教室の開催 9回シリーズ 参加者20名
 市内の小学3年生から6年生を対象に、様々な学習、体験を通じて、小さな頃から福祉に関心をもってもらうことを目的に開催。内容をボランティアスタッフと共に企画し、楽しみながらも学べるプログラムになるよう工夫した。
 学校や学年を超えた交流や、普段なかなか接する機会が少ない貴重な体験を通じて、こどもたちが大きく成長した姿を見ることができた。
- ⑨ 社会福祉推進校事業の推進
 小中高15校（全校）を社会福祉推進校に指定し、活動への助言指導とともに、活動費の助成を行った。
- ⑩ ボランティア活動体験事業 サマーチャレンジ2015
 7月から8月の間に市内の各会場で、学生から社会人まで多くの方がボランティア体験をしていく中で、ボランティアの正しい理解と関心をさらに深め、今後の活動へのステップとすることを目的として開催した。

実施期間	平成27年 7月23日(木)～ 8月31日(月)
参加者	中学生66名・高校生20名・大学生4名 (合計 90名)
実施施設	保育園(14) 高齢者施設等(4) 子育て支援館(1) 障害児支援団体(1)

- ⑪ 親子福祉体験事業（こども福祉教室内で2回実施）
 防災と聴導犬について学ぶ講座を企画。防災では、家具の固定や非常持出品、備蓄品について、またいざという時どんな行動をすればいいか学ぶことができた。聴導犬では、耳の不自由な方のためにどんなお手伝いができるか知ることができた。親子で体験したことを通じて、福祉について共通の話題として話せるきっかけづくりができた。

(2) ボランティア活動への支援

ボランティア登録者数	総数	6,710名
内 訳		
全市のボランティアグループ	56グループ	5,025名
企業ボランティアグループ	4グループ	592名
地区社協ボランティアグループ	24グループ	1,051名
個人ボランティア		41名

- ① ボランティア連絡協議会との連携強化 加入 団体21・個人14名
 ボランティア同士のつながりを更に深めることができ、ふれあい祭りや様々な活動につなげることができた。
 また、社協行事にも積極的に協力していただき、本当にありがたく感謝している。今後も更なる連携強化をしていきたい。
- ② 企業ボランティア活動振興事業
 施設等からのニーズに対し個々の対応をすることが出来た。今後、全体への定期的な情報発信方法について検討していきたい。
- ③ ボランティアコーディネーター機能の充実・強化
 市内外施設へのボランティア紹介
 ボランティア希望者への情報提供
 同行訪問によるボランティアの紹介、対応
 ボランティアセンター管理、整備
 利用状況：18団体・個人 287回 1,534人
- ④ ボランティア等に対し地域福祉活動振興補助事業
 ボランティアの研修や活動に助成を行い、活動を支援した。
- ⑤ ボランティア登録、斡旋、相談事業の充実

⑥ ボランティア保険の普及、加入 加入者総数 1,757名

保険内容	加入者数
Bプラン(社協補助あり)	1,349
Aプラン(全額負担)	268
Aプラン(サマーチャレンジ参加者分)	88
天災Aプラン《災害ボランティア》(社協負担)	52

- ⑦ ボランティア総合相談
ボランティアに関する総合窓口として相談に応じ、活動しやすい環境づくりに努めた。
- ⑧ ボランティア及び災害活動者遺児育英資金 9,475,843円
- ⑨ 6市町村手話奉仕員養成講座 41回シリーズ 修了者17名
諏訪6市町村の方対象として開催。
この講座修了者の中から、通訳者を目指す方もおり、聴覚障害者への理解に成果が見られた。
- ⑩ 手話奉仕員フォローアップ講座の開催 15回シリーズ 参加者20名
奉仕員養成講座修了者以上の方のレベルアップを図ることを目的に開催。県主催の通訳者養成講座へつなげている。
- ⑪ 声の広報デイジー化基礎講座の開催 3回シリーズ 参加者20名
- ⑫ ボランティア祭りの開催
ふれあい祭りと同時間開催し、多くのボランティアにご協力いただき、盛大に開催することができた。年々来場者、新たに参加していただく団体も増えており、定着した行事となっている。

(3) 地区社協への支援

- ① 地区社会福祉協議会の充実と活動の推進
- ② 地区福祉ニーズ対応事業（福祉推進員設置事業） 328名
今井23名・間下22名・岡谷24名・下浜12名・小尾口6名・上浜18名・新屋敷9名・小口18名・小井川29名・西堀16名・小坂8名・花岡17名・三沢31名・新倉12名・駒沢5名・鮎沢5名・橋原6名・東堀30名・中屋18名・中村5名・横川14名
- ③ 地区地域福祉推進会議
各地区社会福祉協議会で開催 57回
- ④ 地区社協役員研修会の開催 4月27日
各地区社協役員対象に、地域福祉についての研修会を開催
地域福祉活動振興補助事業の説明
- ⑤ 地区社協だよりの発行（再掲）
- ⑥ 地域福祉活動振興補助事業
地区社協で行う各事業に補助を行い、地域福祉活動の振興を図った。

(4) 社会参加への支援

- ① 地区主催「敬老事業」への助成 650万円
- ② 岡谷市高齢者クラブ連合会への支援
- ③ 高齢者の社会参加促進事業
「健康・友愛・奉仕」を基本精神とした各種活動への支援。
- ④ 障がい者地域生活支援事業等（市受託事業）

ア 手話通訳者設置

病院・行事等での通訳	10回	学校・福祉団体での学習会講師	5回
窓口での相談等	36回	上の原小・ともそだちプラネット	
たちばな幼稚園手話教室講師	12回		

イ 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

手話通訳者派遣	16件	60.0時間(講演会・学校等)	登録者数	23名
要約筆記者派遣	12件	32.5時間(講演会等)	登録者数	22名

- ウ 声の広報発行事業 12回発行 11世帯利用
- エ 生活訓練事業
- オ 芸術・文化講座開催事業
- カ スポーツ教室開催事業
- キ スポーツ大会開催等
- ク 福祉機器リサイクル事業 電動カート・電動車いす 受付3件 成立0件
その他、福祉機器(ポータブルトイレ・シャワーチェア等)を居宅介護、訪問介護利用者を対象に、随時貸与等を行った。

- ⑤ 岡谷市障害者福祉推進実行委員会による障害者福祉推進
福祉バザー、ふれあいの集い、ふれあい祭り、おどり連の太鼓祭り参加、生活訓練、芸術文化講座、スポーツ教室、スポーツ大会等
障がいを理解するための学習会を初めて開催し、多くの方に参加いただいた。

t 福祉施設運営サービスの充実

- ① おかや総合福祉センター管理経営事業（岡谷市指定管理事業）

開館日数	温泉施設	308日	月平均	25.67日
	生涯学習施設	348日	月平均	29.0日
開館時間	温泉施設	10時～21時30分		
	生涯学習施設	9時～21時30分		
休館日	温泉施設	毎週水曜日		
	生涯学習施設	毎月第3水曜日		
入館者数	有料入館者	温泉施設 125,278名		
	無料入館者	大浴場	110,402名	リハビリ施設 12,752名
		福祉家族風呂	1,125件	2,561名
		生涯学習施設	7,508団体	
		大浴場	17,305名	
		生涯学習施設	1,663団体	
		足湯	59,653名	
		ロビー・ヘルストロン等	99,071名	

こどもから高齢者まで、誰もが集い、憩い、交流することができるコミュニティスペースを目指した。大浴場、福祉風呂、温泉リハビリ施設の衛生管理に注力するとともに、生涯学習施設として研修室の増加を図った。
また、「大浴場天井の貼替工事」を行い、安全・安心面の向上を図った。

- ② 岡谷市通園訓練施設「まゆみ園」の管理経営事業（岡谷市指定管理事業）

開設日	週5日(月～金) 9:00～15:00
始業日	平成27年4月6日(月)
卒園式	平成28年3月15日(火)
保育日数	225日
保育園訪問	3日
年間在籍園児実数	13名
延利用者数	1,478名
27年度卒園児	10名(保育園7名・幼稚園1名・在宅1名・その他1名)

個別計画を作成し、計画に沿った保育を行った。
医療につながっていない園児を医療、療育へつなげるよう努めた。
指定管理最終年として、来年度から直営となる岡谷市に引き継いだ。

- ③ 地域活動支援センター「ひだまりの家」管理運営事業（岡谷市委託事業）

開設日	平成27年4月1日 ※平成27年8月1日よりハイツ内へ移転
開所日時	週5日(月～金) 9:00～15:00
開所日数	241日
延べ年間通所者数	992名
1日平均通所者数	4.9名
年間在籍通所者実数	22名(男性 11名 女性11名)
市町村別内訳	岡谷市 17名 下諏訪町 2名 諏訪市 1名 茅野市 2名
27年度新規通所者	2名
27年度通所希望見学者	8名

8月1日より諏訪湖ハイツ内旧303号室に移転を行った。スペースの関係もあり少人数でのスタートとなりましたが、年度末に部屋の増床を行うなど、利用者の利便性を図ることで利用者の増員を目指す。

(6) 福祉活動の基盤整備

① 地域サポートセンター設置促進体制整備事業

ア 設置状況

西堀区	西堀区地域サポートセンター	平成14年度
東堀区	東堀区地域福祉支援センター	平成15年度
駒沢区	駒沢区地域福祉支援センター	平成16年度
小井川区	小井川区地域サポートセンター	平成16年度
三沢区	三沢区地域サポートセンター	平成18年度
今井区	今井区地域支援センター	平成18年度
花岡区	花岡区地域サポートセンター	平成18年度
岡谷区	岡谷区地域サポートセンター	平成19年度
間下区	間下区地域福祉活動支援センター	平成19年度
小尾口区	小尾口区地域サポートセンター	平成20年度
新屋敷区	新屋敷区地域サポートセンター	平成21年度
下浜区	下浜区地域サポートセンター	平成23年度
鮎沢区	鮎沢区地域サポートセンター	平成23年度
中村区	中村区地域サポートセンター	平成24年度
新倉区	新倉区地域サポートセンター	平成24年度
橋原区	橋原区地域サポートセンター	平成24年度
横川区	横川区地域サポートセンター	平成25年度
中屋区	ふれあい中屋活動センター	平成26年度
小坂区	小坂区サポートセンター	平成26年度

② 各種団体への助成

基本目標 2 福祉サービスの利用を促進する

(1) 情報提供の充実

- ① 社協だより「ゆめ」の発行（年12回 全戸配布/再掲）
- ② ホームページによる情報掲載
- ③ シルキーチャンネルの活用
- ④ 地区社協だよりの発行（再掲）
- ⑤ 新聞等報道機関の協力（再掲）
- ⑥ 福祉教材の貸出（再掲）

(2) サービスの提供

① 日常生活自立支援事業の推進

相談件数	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計	
	2249件	863件	2286件	5398件	
本年度契約件数	25名	本年度解約件数	18名	本年度実利用者数	90名
内(生活保護)	6名	内(生活保護)	4名	内(生活保護)	21名
内(下諏訪町)	8名	内(下諏訪町)	7名	内(下諏訪町)	21名
事業開始からの契約件数	231名	事業開始からの解約件数	141名		
専門員の訪問調査回数	延べ 55回 (対象者 36名)				
生活支援員等の利用援助回数	延べ1604回 (対象者 97名)				

相談件数・契約件数共に年々増加傾向にある。成年後見制度へ移行したケースが2件あり、今後そうしたケースが増加することが予測され、成年後見制度利用の支援についても、より一層地域包括支援センターを含め、行政や関係機関との連携を図る必要がある。

② 金銭管理、財産保全サービス事業の推進（岡谷市社協単独事業）

契約件数	解約件数	実利用者数
3名	1名	9名

③ 地区福祉ニーズ対応事業（福祉推進員設置事業／再掲）

(2) 福祉の相談窓口の充実

① 福祉総合相談

② 心配ごと相談事業

定例相談日数		242日		(毎週 月～金曜日)		8:30～17:15											
相談員				社協職員													
利用者数		19名		(男性5名・女性14名)													
取扱件数		59件															
相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	合計
	生計	年	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	教育・青少年	福祉	苦情	その他	
取扱件数	0	0	2	1	22	0	0	1	25	0	0	0	0	3	1	4	59
処理状況	解決			1	8				7					1		2	19
	再来			1	14			1	18					2		1	37
	民生委員														1		1
	他機関			1													1
	その他															1	1

③ ふれあいおしゃべり電話 月曜～金曜日 8:30～17:15

④ 法律相談

開設日	平成28年3月25日(金)	相談件数	7件
担当弁護士	宮坂大吾法律事務所 宮坂大吾 弁護士		

本年度新規事業として岡谷市の法律相談と連携を図り、更なる市民サービスの向上につながった。

⑤ 結婚相談事業

98日開所	毎週火曜日、第1・3土曜日、第2・4木曜日(夜間相談日)				前年比	
平均相談数	火曜日	木曜日	土曜日	1日あたり		
内	男性	0.3	1.2	1.2	1.2	前年同
	女性	0.6	0.5	1.3	0.5	0.1名増
訳	親族	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1名減
	合計	1.1	1.8	2.8	1.3	0.1名増
相談者数(来所者)	男性(本人)		59名		計 125名	5名増
	女性(本人)		53名			
	親・親族等		13名			
電話相談	399件					
登録者数(3/31現在)	男性		45名		計 73名	3名増
	女性		29名			
お見合い件数	14件		カップル成立		4組	2組増

全体の相談者・登録者数は前年並みですが、ハートリーフ事業や県のマッチングシステムの影響もあり特に女性の相談・登録が多くあった。それに伴い見合いの件数も増加した。また男性登録者がハートリーフに参加した女性と成婚を果たすなど成果も見られた。

⑥ ながの結婚マッチングシステム

システム登録者数(3/31現在)	男性	3名	マッチング依頼件数	7件	システムによるお見合い件数	1件
	女性	3名				
婚活スタート相談会(中南信会場)			松本商工会館	相談件数		10件

マッチングシステムの影響により市外の登録者が増加している。また女性登録者が増えたことにより他市町村からのマッチング依頼も増加している。

⑦ ハートリーフ事業

開催日	場所・内容	参加者	カップル成立
平成27年7月11日(土)	ぐう・大人の合コン	男性 12名	4組
		女性 12名	
平成27年11月28日(土)	かねキッチン・大人の合コン	男性 8名	0組
		女性 7名	
平成28年2月27日(土)	だるま亭・大人の合コン	男性 10名	0組
		女性 10名	

前年度より企画した友達感覚の飲み会の形式が好評であったため、本年度も同じ企画で行った。今年度においても好評であり毎回の課題である女性参加者の確保などもスムーズに行えた。全体の雰囲気も良く会話も盛り上がったもののカップリングでの成立はなかったが、積極的に連絡先を交換したり、2次会に行くグループなどもあり成果は得られた。

⑧ ボランティア総合相談

⑨ 家庭介護相談

(4) サービスの質の向上

- ① 苦情解決の対応
- ② 第三者委員の設置
- ③ 介護事業所別の相談・苦情対応
- ④ 職員の資質向上のための研修会等への参加

基本目標3 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるようにする

(1) 高齢者・障がい者在宅サービスの充実

① 生きがいデイサービス事業（市受託事業）

援助員84名(内地区活動援助員80名：今井区10名・間下区16名・岡谷区12名・小尾口区1名・西堀区11名・駒沢区4名・橋原区9名・中村区6名・小口区1名・三沢区2名・東堀区8名)

名称	会場	参加人員	グループ数	延回数
いきいきデイいまい	今井区公会所 今井区民センター 下今井公会所	47名(男9名・女38名)	4グループ	96回
いきいきデイ間下	間下区民センター	35名(男0名・女35名)	4グループ	92回
いきいきデイおかや	岡谷区公会所	28名(男1名・女27名)	2グループ	48回
すこやかデイ下浜	下浜区民センター	6名(男0名・女6名)	1グループ	24回
いきいきデイ小尾口	小尾口区公民館	9名(男0名・女9名)	1グループ	24回
いきいきデイ上浜	上浜公民館	14名(男0名・女14名)	2グループ	48回
いきいきデイあらやしき	新屋敷会館	15名(男5名・女10名)	2グループ	48回
いきいきデイおぐち	小口区民センター	16名(男0名・女16名)	2グループ	48回
いきいきデイ小井川	小井川区民会館	53名(男1名・女52名)	4グループ	120回
いきいきデイ西堀	西堀公会所	134名(男38名・女96名)	14グループ	334回
ふれあいプラザみなと	ふれあいプラザみなと	14名(男0名・女14名)	2グループ	48回
いきいきデイつるみね	三沢区コミュニティ施設	19名(男0名・女19名)	2グループ	48回
いきいきデイ新倉	新倉区公会所 夏明公会所	26名(男3名・女23名)	3グループ	72回
いきいきデイ駒沢	駒沢区公民館 荻山会館	21名(男0名・女21名)	2グループ	48回
いきいきデイ鮎沢	鮎沢区公民館	15名(男2名・女13名)	1グループ	24回
いきいきデイ橋原	橋原公会所	18名(男3名・女15名)	2グループ	47回
いきいきデイしばみや	柴宮館 東堀コミュニティ会館	41名(男3名・女38名)	4グループ	95回
いきいきデイ中村	中村区民センター	29名(男0名・女29名)	3グループ	72回
いきいきデイ横川	横川公会堂	29名(男0名・女29名)	3グループ	72回

② 有償在宅福祉サービス（家事援助）事業

サービスの種別	協力会員(延)	利用会員(延)	対応延回数	総時間
家事援助サービス	79名	126名	406回	471時間

③ 車いす移送車有償運送事業 3台使用 運転者登録 7人 利用者 17人 404回

- ④ 岡谷市いきいき生活支援サービス事業（ホームヘルプサービス/市受託事業）
 ア 介護予防生活支援サービス（未認定対象）
 イ 重症化予防生活支援サービス（要支援認定以上対象）

- ⑤ 安否確認（目くばり・気くばり）事業

- ⑥ ふれあいの仲間づくり事業

配食等宅配サービス事業 今井・間下・岡谷・下浜・小尾口・新屋敷・小口・西堀・小坂・花岡・三沢・ 新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川
会食会・料理教室 今井・間下・岡谷・下浜・上浜・新屋敷・小口・小井川・西堀・小坂・三沢・ 駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川
デイケアサービス事業 新屋敷・小口・小井川
ふれあいの集い・青少年ふれあい育成事業 岡谷・小口・小坂

- ⑦ ふれあいいきいきサロン事業

実施グループ数	実施延べ回数	参加延べ人数
14グループ	410回	5,323名

- ⑧ 友愛訪問

今井・岡谷・下浜・小尾口・上浜・西堀・新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋

- ⑨ 家庭介護者の集い事業

平成27年10月16日(金)	松茸料理と別所温泉の旅	参加者3名(女性3名)
平成28年2月25日(木)	焼津おさかなセンターツアー	参加者 5名(男性2名・女性3名)

- ⑩ 車いす移送車レンタカー事業 3台使用 利用者 18名 156回

- ⑪ 車いす貸出し事業（介護保険適用以外） 個人26名 26台・5団体 18台

- ⑫ 福祉機器リサイクル事業（再掲）

（2）介護保険事業・障がい福祉サービス事業の充実

- ① 居宅介護支援事業所（介護支援専門員による支援計画策定等）

介護区分	延べ人数	月平均	前年比（月平均）
要介護1・2	1,177名	98名	5名増
要介護3・4・5	597名	50名	3名増
介護支援専門員1人当たり（常勤換算6.4名）		23名	前年同
新規利用者数(27年度中)		50名	10名増

- ② 介護予防支援業務（市受託事業）

介護区分	延べ人数	月平均	前年比（月平均）
要支援1・2	516名	43名	3名減
介護支援専門員1人当たり（常勤換算6.4名）		6.7名	0.5名減
新規利用者数(27年度中)		8名	3名減

前年比として利用者数が伸びていないが、年度後半に新規利用者が増えてきており収入も上向いてきている。更なる利用者の確保に向けた対策が急務である。

- ③ 特定相談支援事業（障がい福祉サービス等利用計画策定等）

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
72名	50名増	62件	44件増	136件	79件増

昨年度より開始された事業だが、大幅な利用者増となった。今後も更なる利用者が見込める事業のため、積極的に利用者の受け入れをしていく。

- ④ 障害児相談支援事業（障がい福祉サービス等利用計画策定等）

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
4名		15件		12件	

- ④ 二次予防事業 訪問型介護予防（市受託事業）

⑤ 訪問介護事業所（ホームヘルプサービス）

ア 訪問介護事業

利用者数	延べ人数	月平均			
要介護1～5	731名	60名			
新規利用者数(27年度中)	12名				
サービス区分	延べ派遣回数	月平均	延べ派遣時間	前年比(時間)	
身体介護	4,724回	393回	3,198時間	69時間減	
身体・生活	2,189回	182回	2,855時間	44時間増	
生活援助	3,203回	267回	2,416時間	179時間減	
乗降介助	124回	10回	45時間	8時間増	
自費利用	701回	58回	428時間	28時間減	
合計	10,941回	910回	8,942時間	224時間減	

イ 介護予防訪問介護事業

利用者数	延べ人数	月平均			
	272名	23名			
新規利用者数(27年度中)	5名				
サービス区分	延べ回数	月平均	延べ派遣時間	前年比(時間)	
介護予防Ⅰ	641回	53回	638時間	129時間増	
介護予防Ⅱ	877回	73回	754時間	262時間減	
介護予防Ⅲ	205回	17回	229時間	149時間減	
合計	1,723回	143回	1,621時間	282時間減	

要介護・要支援共に、年度後半に新規利用者が増えてきており収入も上向いてきている。更なる利用者の確保に向け、ホームヘルパーの確保など体制の整備が急務である。

ウ 障がい福祉サービス事業

利用者数	延べ人数	月平均			
	430名	35名			
新規利用者数(27年度中)	9名				
自立支援給付	利用者数	派遣回数	派遣時間	前年比(時間)	
重度訪問介護	1世帯	72回	165時間	1時間減	
重度訪問介護(移動介護のみ)	1世帯	22回	33時間	3時間減	
身体介護	5世帯	411回	483時間	11時間減	
家事援助	30世帯	1,766回	2,001時間	76時間減	
通院介助(身体介護あり)	1世帯	50回	63時間	13時間増	
通院介助(身体介護なし)	1世帯	9回	19時間	1時間増	
同行援護(身体介護伴う)	1世帯	2回	4時間	4時間増	
同行援護(身体介護伴わず)	10世帯	326回	649時間	63時間増	
移動支援	5世帯	160回	236時間	176時間増	

利用者は増加傾向となっている。特に視覚障がい者の同行援護サービスが増えている。

エ 実費利用支援サービス事業

⑥ 就労継続支援事業所（B型）「ひだまり作業所」

開設日	平成27年8月1日より事業開始
開所日時	週5日(月～金) 9:00～15:00
開所日数	158日
延べ年間通所者数	1,522名 (見学・お試し利用人数等除く)
1日平均通所者数	9.6名
年間在籍通所者実数	13名(男性 8名 女性5名)
市町村別内訳	岡谷市 9名 下諏訪町 3名 茅野市 1名
27年度新規通所者	1名
27年度通所希望見学者	7名
27年度開催行事	お花見屋食会・いちご狩り・防災訓練(春・秋)・焼肉会 干し柿作り・ボウリング大会・恵方巻会等

8月1日より新たに就労継続支援事業所「ひだまり作業所」として開始した。定員の半分ほどの利用者となったが、送迎を行うなど新たな利用者の拡充を目指していく。

(3) 子育て支援サービスの充実

① 産後ママサポート事業（市受託事業）

登録ヘルパー	派遣世帯数	派遣回数	派遣時間
8名	4世帯	17回	32時間

② 育児ファミリーサポートセンター事業（保育/市受託事業）

提供会員	34名	利用会員	463名				
個人	件数	63件	内容	保護者の病気時、残業、研修、習い事等			
	時間	180時間					
複数 預かり	件数	127件	延提供会員数	487名	内容	講演会、講習会、研修会等	
	時間	312時間					

提供会員を対象とした研修会を開催し(6回)、サービスの向上を図った。

- ③ ひとり親家庭福祉事業への助成と援護活動
- ④ 児童遊園地の新設、遊具等の整備助成事業
- ⑤ 親子福祉体験事業（再掲）

(4) 安全・安心な市民生活をサポートするサービスの充実

① 友愛訪問事業（再掲）

② 戦没者慰霊事業 遺族会へ補助 16万円

③ 罹災者に対する見舞事業

市社協見舞金	全焼 1件 20,000円	焼失 4件 40,000円	負傷 1名 2,000円
県共募見舞金	全焼 1件 10,000円	焼失 4件 40,000円	

④ 災害ボランティアの事前登録

⑤ 災害ボランティアコーディネーターの養成

防災とボランティアパークにおいてボランティアコーナー設置と炊き出し

⑥ 安否確認のための情報把握（災害時要援護者避難支援体制づくりへの協力）

⑦ 支援協力体制の整備

ア 岩手県山田町災害救援ボランティアセンターへ職員派遣

期間	日数	要請機関
8月3日～7日	5	山田町社会福祉協議会

職員派遣によって被災されて社協とのつながりができたことにより、山田町社協からの直接の要請により職員を派遣し、被災地社協の支援を行った。

- ⑧ 避難所運営の支援
- ⑨ 要援護者に対する応急活動
- ⑩ 被災地・被災者支援活動
- ⑪ 災害時ボランティア関係団体の調整
- ⑫ 県内社協災害時相互応援協定・諏訪ブロック社協における相互応援協定
諏訪圏青年会議所との災害時協力協定による体制整備
- ⑬ 生活福祉資金(災害援護資金等)の貸付の周知・活用促進
- ⑭ ボランティア及び災害活動者遺児育英資金（再掲）
- ⑮ 交通災害遺児等激励事業
- ⑯ 生活困窮者サポート事業

ア 貸付に関する相談

相談件数(本人来所、窓口対応)	17件
-----------------	-----

貸付に関する相談を通して、金銭管理や貸付金等の事業も視野に入れ、関係機関と連携し、相談者の生活の自立を支援する活動に取り組んだ。

イ 食品等の払い出し

お米の支給	6件	21kg
-------	----	------

貸付相談者、日常生活自立支援事業利用者、生活困窮世帯への緊急的支援として、貸付と併用して、お米を支給した。

⑰ 助け合い資金貸付事業（市社協単独事業）

貸付人員	8名	9件	171,000円
償還取扱件数	21名	36件	368,000円
不能欠損処分	1名		16,000円
償還未納金額	16名		448,000円

生活保護受給のつなぎ資金を中心に貸付を行った。滞納者に継続して連絡を取り、相談する中で、小額ずつでも償還するよう促し、滞納額を減らすことができた。

また、借受人、保証人ともに死亡したケースについて、不能欠損処分を行った。

⑱ 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

教育支援資金	1件	1,048,000円
--------	----	------------

貸付を行うだけでは解決しない複数の生活課題を抱えているケースが多くなってきており、相談を受ける際、丁寧な聞き取りを行い、行政の生活保護、就労支援等担当と連携し、自立につながるよう努めた。

⑲ 生活改善事業への協力

(5) 健康の保持増進

- ① 高齢者の社会参加促進事業（再掲）
- ② 生きがいデイサービス事業（再掲）
- ③ ふれあいの仲間づくり事業（再掲）
- ④ ふれあいいきいきサロン事業（再掲）

基本目標 4 社会福祉協議会の基盤を強化する

(1) 第3次地域福祉活動計画の策定

① 策定体制

岡谷市社会福祉協議会地域福祉活動策定委員会（委員23名）を設置し、計画の審議を行った。（全5回）

② 調査の実施

市民対象のアンケート調査と、地域福祉にかかわる各種団体との懇談会によるヒアリング調査を実施。

ア アンケート調査

調査対象	中学生以上の一般市民
配布人数	1,000人
抽出法	無作為抽出
調査方法	地区社協による配布・回収、留置き法
調査時期	平成27年8月
回収率	94.9%
回収人数	949人

イ ヒアリング調査

団体名	実施日
地区社協会長	平成27年11月17日
区長会	平成27年11月30日
おかやボランティア連絡協議会	平成27年12月1日
ハンデサポートおかや	平成27年12月2日
民生児童委員協議会	平成27年12月7日
高齢者クラブ連合会	平成27年12月15日
子育て支援関係団体	平成27年12月17日
岡谷市ひとり親家庭福祉会	
岡谷市少年愛護委員会	
岡谷市更生保護女性会	
岡谷市子ども会育成連絡協議会	

(2) 組織の強化

- ① 社会福祉協議会役職員の研修
- ② 地域福祉活動計画の点検・評価
- ③ 市社会福祉大会の開催（再掲）
- ④ 県社会福祉大会への参加（須坂市/再掲）
- ⑤ 地区社協会長等視察研修 平成27年12月8日・9日 愛知県清須市社会福祉協議会
地区社協会長等28名の参加をいただき、清須市社会福祉協議会の事業概要、新川第1
ブロック社会福祉協議会の見守り活動についての話しを聞き、地域福祉活動の見識を
深める研修となった。
- ⑥ 防災倉庫の整備
準備基金、県社協の災害時初動資機材整備事業を活用し、防災倉庫の整備を行い、
災害時、即対応できる体制を整えた。また日赤、サントリーと契約し、毛布、飲料水
の確保を行った。
今後資機材、備蓄品については、更に充実を図る。
- ⑦ 新会計基準へ移行
27年度決算をもって、移行完了となった。

(3) 財源の強化

- ① 岡谷市社会福祉協議会会費

会費収納説明会の開催	平成27年6月18日(木)	市役所 9階	区長・地区社協会長等
収納状況			
一般会費(1世帯 1,000円)	9,253件	9,230,025円(前年度 9,264件	9,237,500円)
賛助会費(1口2,000円以上)	4,622件	9,621,500円(前年度 4,808件	10,004,500円)
合計	13,875件	18,851,525円(前年度 14,072件	19,242,000円)

- ② 赤い羽根共同募金運動

募金方法	件数	実績額(円)	備考
戸別募金	13,137	13,633,470	
街頭募金	1	35,644	
法人募金	589	2,235,700	事業所大口
学校募金	8	80,160	小学校 6・中学校 2
その他募金	22	1,249,673	
合計	13,757	17,234,647	前年度13,891件 17,470,100円

- ③ 岡谷市社会福祉協議会福祉基金及び準備基金

福祉基金	301,713,527円	準備基金	8,241,362円
ボランティア及び災害活動者遺児育英資金			9,475,843円

- ④ 物品寄付の受付 89件

使用済み切手	46件	電動ベッド	1件
書き損じはがき	2件	電動車いす	1件
介護用衣料	1件	夏みかん	1件
おむつ類	5件	ウエス	1件
タオル類	4件	車いす	1件
未使用切手	1件	ひじき・のり	1件
吸引器	1件	ボールペン	1件

ご寄付いただいた物品は、必要とする施設や機関、利用者等へ払出し、それぞれに活用した。